

地域戦略2

次代につなぐ魅力ある かみつが型水田農業経営の実現

■対応方向

整備の遅れている地域の基盤整備を重点的に行い、農作業の効率化を図るとともに、大規模土地利用型経営体や集落営農組織等への農地の集積や集約化を推進します。

また、飼料用米や特色ある品目の導入による経営発展の取組を支援し、収益性の高い水田農業経営の実現に取り組みます。



■主な指標

指標項目	現状(H26)	目標(H32)
水田整備率	55%	58%
担い手への農地集積率	35%	50%
高収益経営モデル育成数	—	20 経営体

■取組方策

- 未整備農地の区画整理や農地の大区画再編など地域特性に応じた基盤整備の計画的推進
- 地域での話し合いによる集落営農組織等の担い手の育成と、農地中間管理事業等を活用した農地の集積・集約化の促進
- 集落営農組織等の担い手の経営合理化や法人化の推進と、地域特性を活かした大豆やそば、野菜等特色ある品目導入による収益性の高い経営モデルの育成
- 耕畜連携による飼料用米や稲WC S等の地域内流通の促進と、水田を有効利用した自給飼料生産の推進

■戦略の展開フロー (イメージ)

